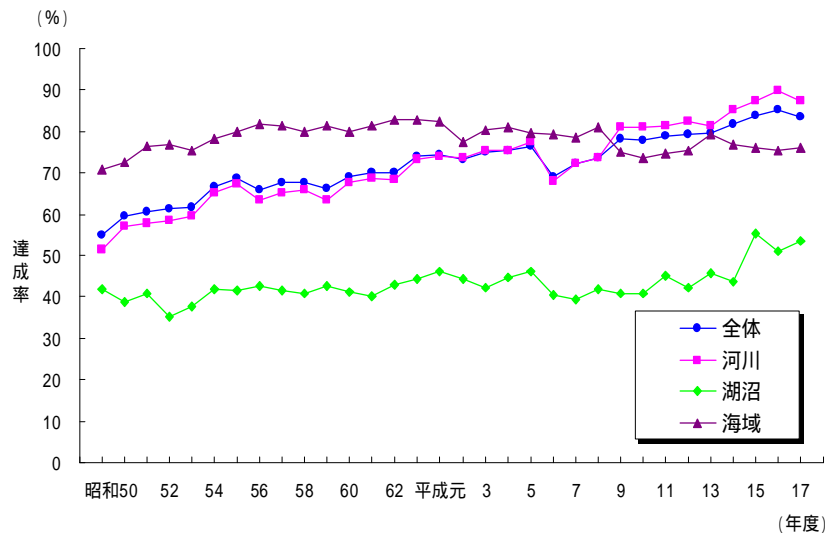


湖沼や内湾などの閉鎖性水域の水環境問題

- 特に湖沼や内湾などの閉鎖性水域においては、流域からの負荷が流入・滞留しやすく、内部生産や底質からの溶出と相まって、汚濁の改善が十分には進んでいません。
- これらの水域においては、富栄養化に伴い、アオコや赤潮の発生などにより、水生生物の生息・生育や水域利用上の障害などの影響が生じています。

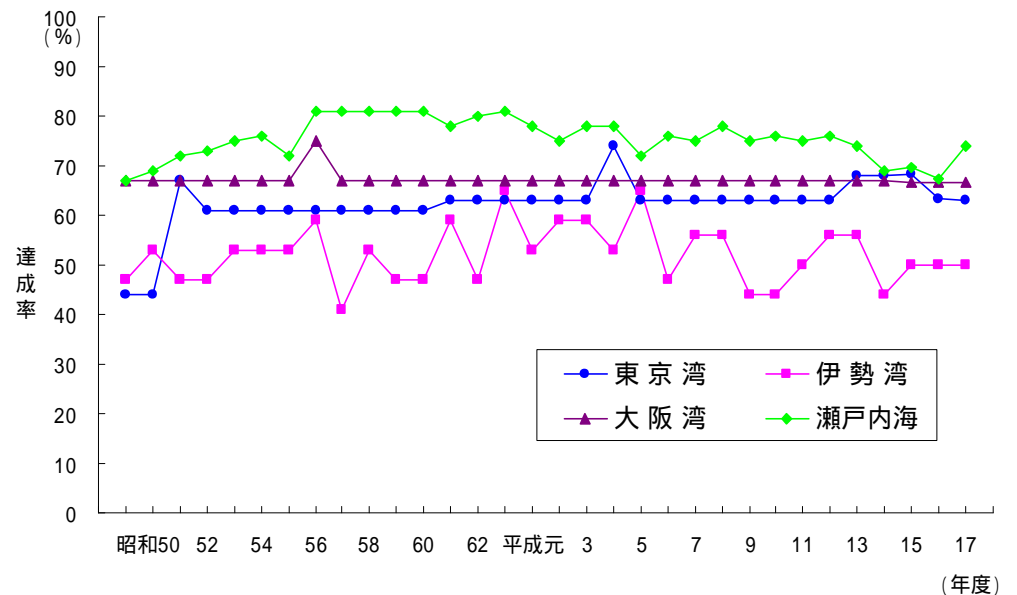
環境基準達成率(BOD又はCOD)の推移



注1: 河川はBOD、湖沼及び海域はCODである。
 注2: 達成率(%)=(達成水域数/類型指定水域) × 100

出典: 環境省『平成17年度公共用水域水質測定結果』

三海域の環境基準(COD)達成率の推移

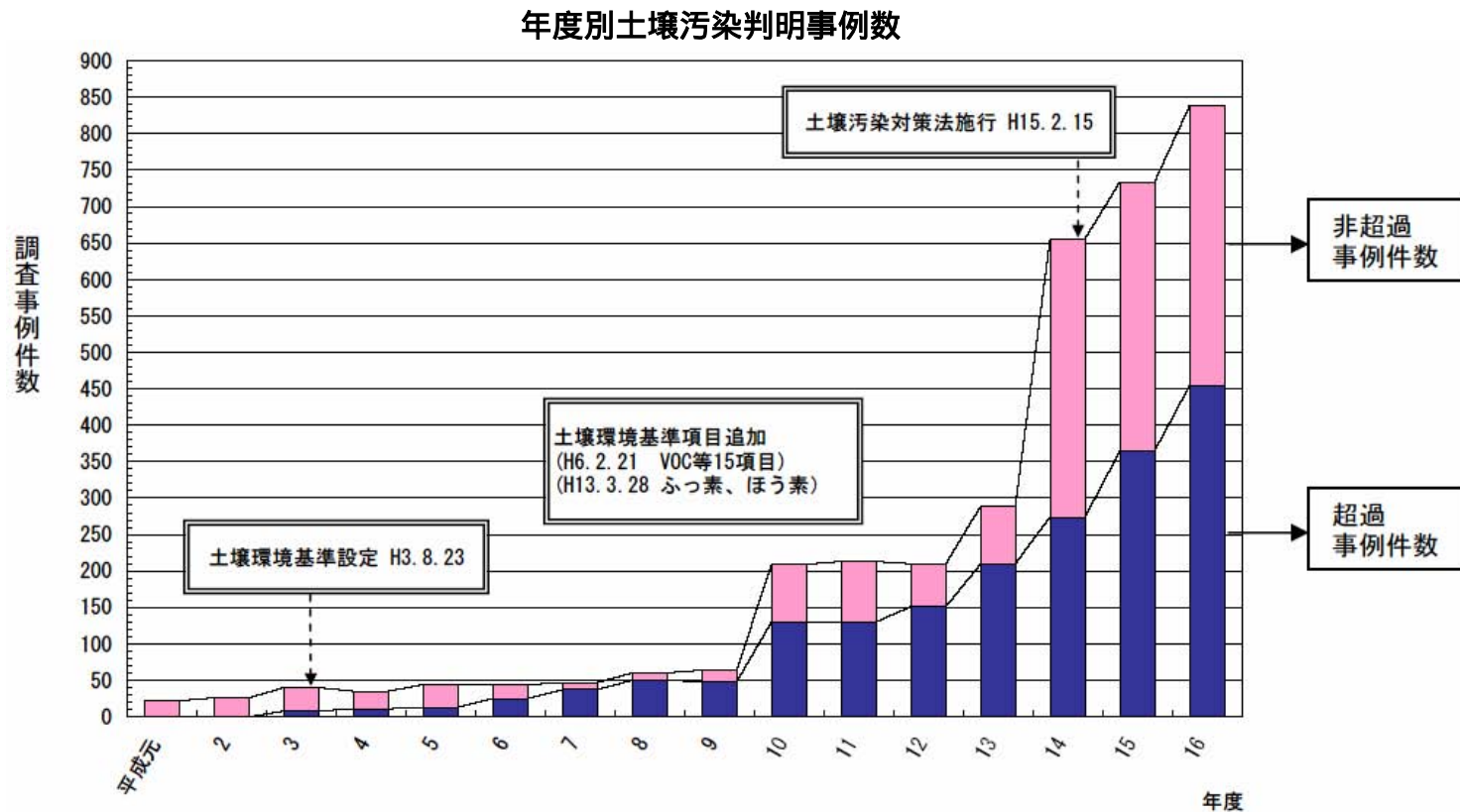


注: 伊勢湾は三河湾を含み、瀬戸内海は大阪湾を含む。

出典: 環境省『平成17年度公共用水域水質測定結果』

土壌汚染問題

- 土壌は、一旦汚染されると有害物質が蓄積され汚染状態が長期にわたるという特徴を持っています。
- 近年、工場跡地の再開発等に伴い土壌汚染が判明する事例が増加しており、平成16年度に新たに土壌の汚染に係る環境基準又は土壌汚染対策法の指定基準を超える汚染が判明した事例は454件となっています。

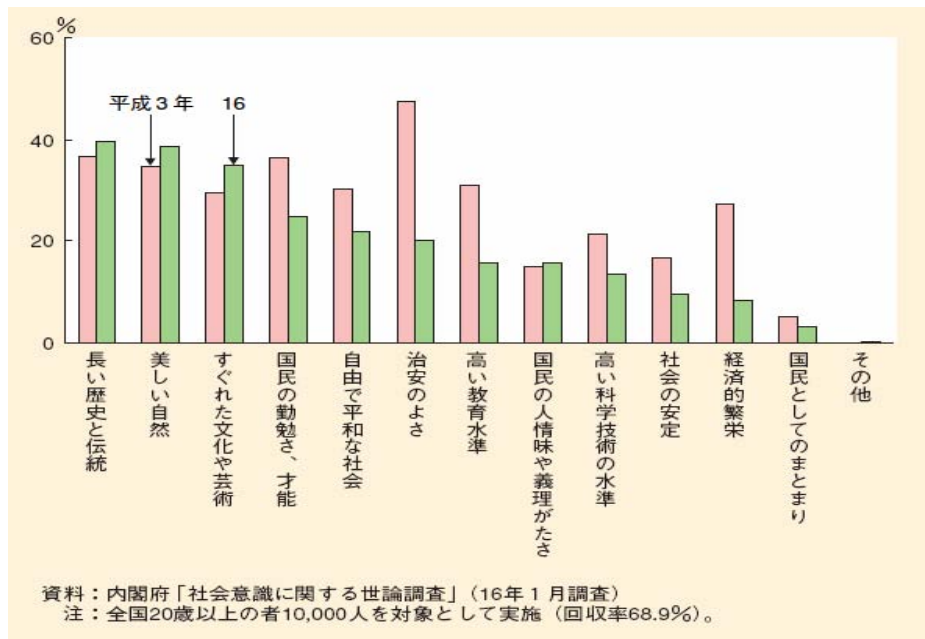


出典：環境省「平成16年度土壌汚染対策法の施行状況及び土壌汚染調査・対策事例等に関する調査結果」

誇りうる日本の美しい自然

- 内閣府が平成16年に行った「社会意識に関する世論調査」によれば、全体の約40%の人が「日本の誇りは美しい自然である」と回答しています。

日本の国や国民性について誇りに思うこと(複数回答)



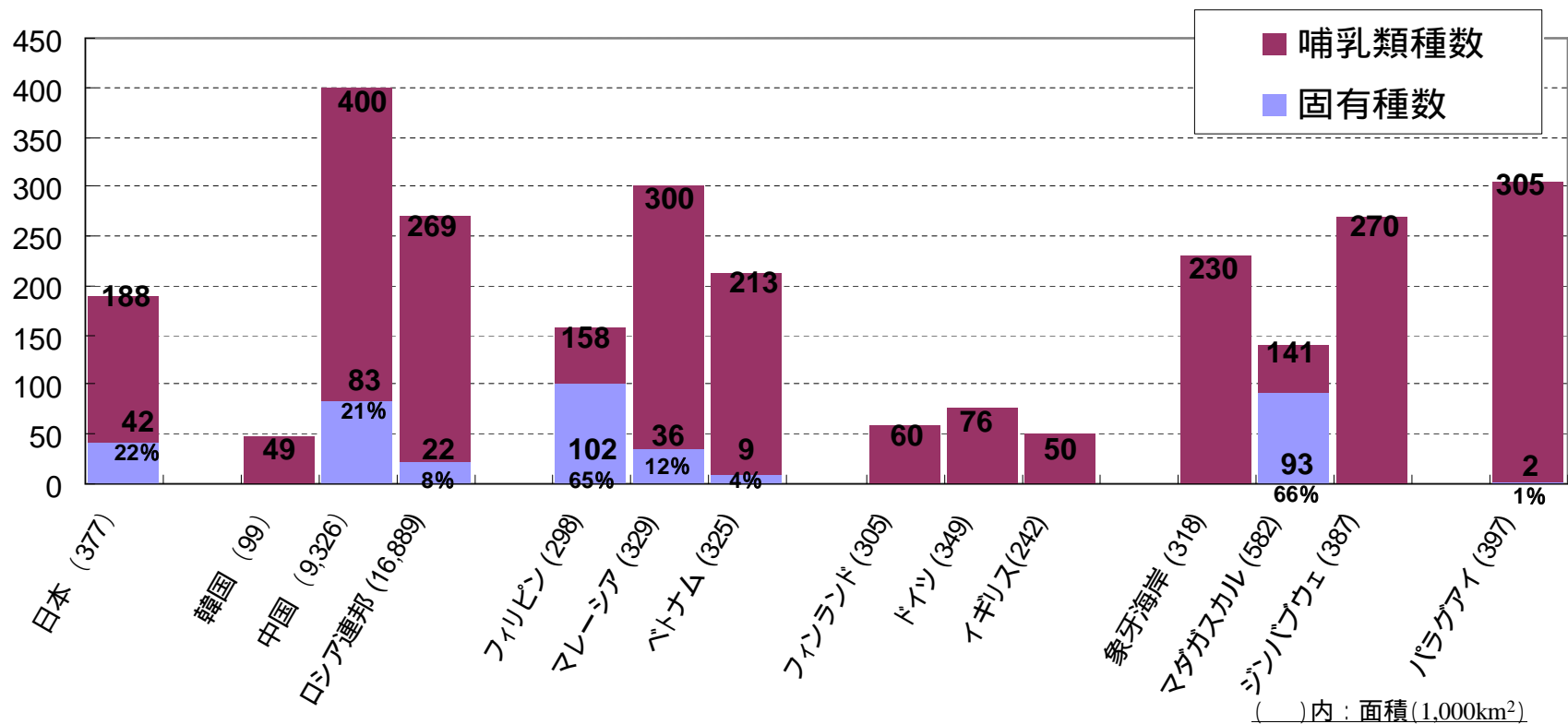
美しい日本の国立公園



日本の生物多様性の特徴

- 日本は島嶼として隔離されているため、韓国、ロシアなどの近隣諸国と比べると、固有種の割合が高くなっています。
- 氷河の影響などを受けた欧州北部に比べると、日本は種数が多くなっています。

日本と諸外国との生息する哺乳類の種数(固有種数)の比較



出典: World Resources 2000-2001, WRI2001

我が国の生物多様性の三つの危機

第1の危機:

人間の活動や開発による種の減少・絶滅、生態系の破壊。



トキの野生絶滅

第2の危機:

里地里山などの二次的自然への人間の働きかけが減少することによる影響。



里山の典型種 カタクリとギフチョウ

(写真: 山口茂氏提供)

第3の危機:

外来生物や化学物質が人間により外部から持ち込まれることによる影響。



マンゲースの影響